

第4次香川県海岸漂着物対策等推進計画（素案）について提出された

ご意見とそれに対する県の考え方

問い合わせ先

環境管理課 総務・里海グループ

〒760-8570 高松市番町四丁目1番10号

電話:087-832-3220/FAX:087-806-0228

E-mail:kankyokanri@pref.kagawa.lg.jp

令和7年12月22日から令和8年1月21日までの1か月間、第4次香川県海岸漂着物対策等推進計画（素案）について実施したパブリック・コメント（意見公募）では、1団体から4件のご意見が寄せられました。ご意見をいただきありがとうございます。

これらのご意見について、適宜要約・集約して整理し、それらに対する県の考え方とあわせて以下に示します。

なお、賛否の結論だけを示したご意見や案と直接関係のないと考えられるご意見については、公表していません。

〈ご意見の提出者数〉		〈提出されたご意見の数〉	
個人	1 件	海ごみの発生抑制対策に関する事	2 件
企業	1 件	プラスチックごみの回収・処理に関する事	1 件
団体	1 件	指標に関する事	1 件
合計	1 件	合 計	4 件

ご意見（要約）	ご意見に対する県の考え方
海ごみの発生抑制対策に関する事	
河川等への流出防止や不法投棄防止を関係者の協働で実施する方針を示しているが、これを実効性ある施策とするため、例えば当団体（意見提出者）が実施している回収方法を県の施策メニューとして位置付け、モデル事業化の推進を検討することを計画に明記することを提案する。	海ごみ対策においては、地域住民や民間団体等との連携・協働が重要であり、本計画案 14 ページにおいても、民間団体の活動を支援し、海ごみを削減することを記載しております。 本計画に、個別の民間団体等の施策を記載することは難しいと考えますが、今後とも地域住民や民間団体と連携・協働して海ごみの削減に努めてまいります。

ご意見（要約）	ご意見に対する県の考え方
<p>海ごみの特性等の分析方法として、一般社団法人 JEAN のごみ調査・データカードの利用等の考え方が示されているが、それに関連し、当団体（意見提出者）が実施している分別回収の例を追記いただきたい。</p> <p>また、県内でデータ形式を揃えとともに、地方自治体や民間団体が回収した海ごみのデータを統合し、施策評価（効果検証）に活用していただきたい。</p> <p>さらには、当団体（意見提出者）が開発する海洋ごみ MAP を県のデータ標準化・統合の検討において、活用可能性をご検討いただきたい。</p>	<p>一般社団法人 JEAN のごみ調査・データカードは、「国際海岸クリーンアップ（海岸清掃時にごみの種類や量を世界共通の項目で記録する活動）」で、使用されている調査票を基に作成され、国内で普及している調査で、他の地域との比較が可能な一般的な海ごみの調査の例として示しています。</p> <p>海ごみの調査では、調査目的に合わせて様々な調査が行われていることは承知しており、一般的な調査の例として一般社団法人 JEAN を記載しておりますが、県としても情報収集に努めてまいります。</p>
プラスチックごみの回収・処理に関すること	
<p>16 ページで、環境中に放出されたプラスチックがマイクロプラスチック化すると回収が困難であるため破碎・細分化する前に回収・処理を進める重要性を述べている。</p> <p>河川での早期回収はこの方針に直結することから、河川での「早期回収」をマイクロ化抑制策としてより明確に位置付けることを提案する。</p>	<p>プラスチックごみが破碎・細分化されたマイクロプラスチックは回収が困難であることから、プラスチックごみは早期の回収が重要であると考えております。</p> <p>河川清掃など海に流出する前のごみの早期回収は、マイクロプラスチックだけでなく海ごみ対策全般として重要であることから、本計画案 14 ページの海ごみの発生抑制対策の推進において記載しており、今後とも取り組んでまいります。</p>
指標に関すること	
<p>指標（KPI）について、重量のみならず、個数・材質・用途（容器包装等）などの組成情報を併用し、発生抑制の効果検証に耐える設計としていただきたい。</p>	<p>海ごみについては、まずは総量を減らすことを目的として、指標を重量で示しております。</p> <p>海ごみの組成情報は、3 ページから 7 ページに示しているとおりで、これらのデータも活用しながら海ごみの削減に努めてまいります。</p>